

IDS

22390 U.S. PTO
10/761207



JP-A-H2-285424 discloses in Claim 1:

A manner of outputting an unnecessary file name in a compiler that generates an object program by compiling a source program, the manner comprising:

cross reference outputting processing unit for outputting a cross reference list including a declaration information item and a row number of the source program,

wherein the declaration information item including a declaration name that is declared on the source program and information relating to the declaration name, and

wherein in the row number of the source program the declaration name is declared and referred to;

unnecessary name outputting means provided in the cross reference outputting processing unit for outputting, to an unnecessary file name file, an unnecessary file name by extracting the unnecessary file name that is declared but not referred to from the source program.

THIS PAGE BLANK (USPTO)

①日本国特許庁(JP) ②特許出願公開
③公開特許公報(A) 平2-285424
④int.Cl.⁴ 分類記号 庁内整理番号 ⑤公開 平成2年(1990)11月22日
G 06 F 8/45 8724-SB G 06 F 8/44 3 2 2 D
審査請求 未請求 請求項の枚数 3 (全5頁)

⑥発明の名称 コンパイラの不要な出力方式および不要な印刷方式
⑦特 願 平1-105395
⑧出 願 平1(1989)4月27日
⑨発 明 者 坂 田 雄 三 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内
⑩出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号
⑪代 理 人 弁護士 河原 純一

1. 発明の名称 コンパイラの不要な出力方式および不要な印刷方式

2. 発明の背景技術

3. 発明の目的

4. 発明の構成

5. 発明の効果

6. 発明の産業上の利用可能性

7. 発明の産業上の利用可能性

8. 発明の産業上の利用可能性

9. 発明の産業上の利用可能性

10. 発明の産業上の利用可能性

11. 発明の産業上の利用可能性

12. 発明の産業上の利用可能性

13. 発明の産業上の利用可能性

14. 発明の産業上の利用可能性

15. 発明の産業上の利用可能性

16. 発明の産業上の利用可能性

17. 発明の産業上の利用可能性

18. 発明の産業上の利用可能性

19. 発明の産業上の利用可能性

20. 発明の産業上の利用可能性

21. 発明の産業上の利用可能性

22. 発明の産業上の利用可能性

23. 発明の産業上の利用可能性

24. 発明の産業上の利用可能性

25. 発明の産業上の利用可能性

26. 発明の産業上の利用可能性

27. 発明の産業上の利用可能性

28. 発明の産業上の利用可能性

29. 発明の産業上の利用可能性

30. 発明の産業上の利用可能性

31. 発明の産業上の利用可能性

32. 発明の産業上の利用可能性

33. 発明の産業上の利用可能性

34. 発明の産業上の利用可能性

35. 発明の産業上の利用可能性

36. 発明の産業上の利用可能性

37. 発明の産業上の利用可能性

38. 発明の産業上の利用可能性

39. 発明の産業上の利用可能性

40. 発明の産業上の利用可能性

41. 発明の産業上の利用可能性

42. 発明の産業上の利用可能性

43. 発明の産業上の利用可能性

44. 発明の産業上の利用可能性

45. 発明の産業上の利用可能性

46. 発明の産業上の利用可能性

47. 発明の産業上の利用可能性

48. 発明の産業上の利用可能性

49. 発明の産業上の利用可能性

50. 発明の産業上の利用可能性

51. 発明の産業上の利用可能性

52. 発明の産業上の利用可能性

53. 発明の産業上の利用可能性

54. 発明の産業上の利用可能性

55. 発明の産業上の利用可能性

56. 発明の産業上の利用可能性

57. 発明の産業上の利用可能性

58. 発明の産業上の利用可能性

59. 発明の産業上の利用可能性

60. 発明の産業上の利用可能性

61. 発明の産業上の利用可能性

62. 発明の産業上の利用可能性

63. 発明の産業上の利用可能性

64. 発明の産業上の利用可能性

65. 発明の産業上の利用可能性

66. 発明の産業上の利用可能性

67. 発明の産業上の利用可能性

68. 発明の産業上の利用可能性

69. 発明の産業上の利用可能性

70. 発明の産業上の利用可能性

71. 発明の産業上の利用可能性

72. 発明の産業上の利用可能性

73. 発明の産業上の利用可能性

74. 発明の産業上の利用可能性

75. 発明の産業上の利用可能性

76. 発明の産業上の利用可能性

77. 発明の産業上の利用可能性

78. 発明の産業上の利用可能性

79. 発明の産業上の利用可能性

80. 発明の産業上の利用可能性

81. 発明の産業上の利用可能性

82. 発明の産業上の利用可能性

83. 発明の産業上の利用可能性

84. 発明の産業上の利用可能性

85. 発明の産業上の利用可能性

86. 発明の産業上の利用可能性

87. 発明の産業上の利用可能性

88. 発明の産業上の利用可能性

89. 発明の産業上の利用可能性

90. 発明の産業上の利用可能性

91. 発明の産業上の利用可能性

92. 発明の産業上の利用可能性

93. 発明の産業上の利用可能性

94. 発明の産業上の利用可能性

95. 発明の産業上の利用可能性

96. 発明の産業上の利用可能性

97. 発明の産業上の利用可能性

98. 発明の産業上の利用可能性

99. 発明の産業上の利用可能性

100. 発明の産業上の利用可能性

図1は、従来のコンパイラにおいて、ソースプログラムをコンパイルしてオブジェクトプログラムを生成する際の出力方式を示す。図2は、本発明のコンパイラにおいて、ソースプログラムをコンパイルしてオブジェクトプログラムを生成する際の出力方式を示す。

また、従来のコンパイラでは、コンパイル時に、ソースプログラムの各文節を逐次コンパイルして、オブジェクトプログラムの各文節を逐次生成する。これにより、コンパイル時に、ソースプログラムの各文節の出力先を指定することができる。本発明のコンパイラでは、コンパイル時に、ソースプログラムの各文節の出力先を指定することができる。これにより、コンパイル時に、ソースプログラムの各文節の出力先を指定することができる。

本発明の目的は、上述の如く、ソースプログラム中の不要な出力文節を削除して、オブジェクトプログラムを生成することにある。これにより、コンパイル時に、ソースプログラムの各文節の出力先を指定することができる。本発明の目的は、上述の如く、ソースプログラム中の不要な出力文節を削除して、オブジェクトプログラムを生成することにある。

図3は、本発明のコンパイラにおいて、ソースプログラムをコンパイルしてオブジェクトプログラムを生成する際の出力方式を示す。図4は、本発明のコンパイラにおいて、ソースプログラムをコンパイルしてオブジェクトプログラムを生成する際の出力方式を示す。

また、本発明のコンパイラにおいて、ソースプログラムをコンパイルしてオブジェクトプログラムを生成する際の出力方式を示す。これにより、コンパイル時に、ソースプログラムの各文節の出力先を指定することができる。本発明の目的は、上述の如く、ソースプログラム中の不要な出力文節を削除して、オブジェクトプログラムを生成することにある。

また、本発明のコンパイラにおいて、ソースプログラムをコンパイルしてオブジェクトプログラムを生成する際の出力方式を示す。これにより、コンパイル時に、ソースプログラムの各文節の出力先を指定することができる。本発明の目的は、上述の如く、ソースプログラム中の不要な出力文節を削除して、オブジェクトプログラムを生成することにある。

特開平2-285424 (3)

本特許出願に示すようなコンピュータから構成される。

(実施例)

次に、本発明について図面を参照して詳細に説明する。

図1図は、本発明の一実施例に係るコンピュータの構成を示すブロック図である。本実施例のコンピュータの構成は、図1に示すように、中央処理装置(CPU)1、記憶装置2、入出力装置3、及び、通信装置4から構成される。CPU1は、記憶装置2に記憶されたプログラムを実行し、入出力装置3を通じて入出力を行う。また、通信装置4を通じて他のコンピュータと通信を行う。CPU1は、記憶装置2に記憶されたプログラムを実行し、入出力装置3を通じて入出力を行う。また、通信装置4を通じて他のコンピュータと通信を行う。

図2図は、本発明の一実施例に係るコンピュータの構成を示すブロック図である。本実施例のコンピュータの構成は、図2に示すように、中央処理装置(CPU)1、記憶装置2、入出力装置3、及び、通信装置4から構成される。CPU1は、記憶装置2に記憶されたプログラムを実行し、入出力装置3を通じて入出力を行う。また、通信装置4を通じて他のコンピュータと通信を行う。

特開平2-285424 (4)

本特許出願に示すようなコンピュータから構成される。

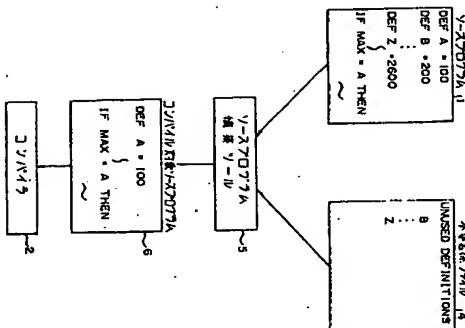
(実施例)

次に、本発明について図面を参照して詳細に説明する。

図3図は、本発明の一実施例に係るコンピュータの構成を示すブロック図である。本実施例のコンピュータの構成は、図3に示すように、中央処理装置(CPU)1、記憶装置2、入出力装置3、及び、通信装置4から構成される。CPU1は、記憶装置2に記憶されたプログラムを実行し、入出力装置3を通じて入出力を行う。また、通信装置4を通じて他のコンピュータと通信を行う。

図4図は、本発明の一実施例に係るコンピュータの構成を示すブロック図である。本実施例のコンピュータの構成は、図4に示すように、中央処理装置(CPU)1、記憶装置2、入出力装置3、及び、通信装置4から構成される。CPU1は、記憶装置2に記憶されたプログラムを実行し、入出力装置3を通じて入出力を行う。また、通信装置4を通じて他のコンピュータと通信を行う。

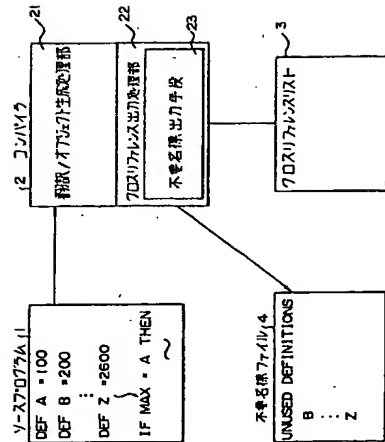
第2図



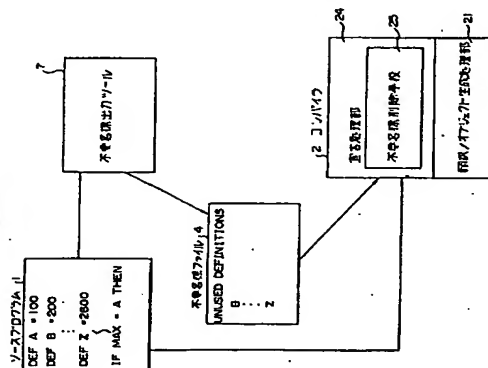
(5)

特開平2-285424 (5)

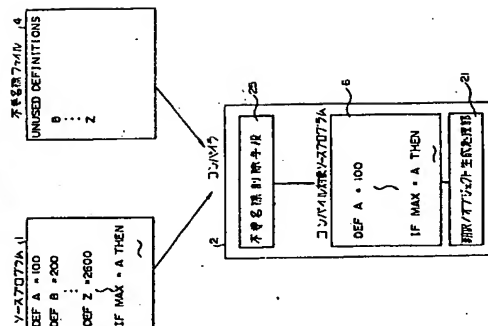
第 1 図



第 3 図



第 4 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)